

平成 29 年度 諏訪湖環境改善事業

○事業内容

環境部、農政部、建設部

1 諏訪湖創生ビジョンの策定 【 466 万 2 千円 】

① 新 諏訪湖創生ビジョン策定（第 7 期諏訪湖水質保全計画の策定を含む）

◇副知事をトップに、地域振興局が中心となって、従来の水質保全に、水辺環境整備やまちづくりの観点を加えた諏訪湖のあるべき姿を示す将来（長期）ビジョンを策定 【環】

2 貧酸素対策の推進 【 8,071 万 8 千円 】

② 拡 (1) 貧酸素発生メカニズム解明のための調査・研究

<ポイント> ① 溶存酸素濃度の連続測定を開始

② 貧酸素の一因とされるプランクトン調査の内容充実

③ 貧酸素水塊の一因とされる底泥（ヘドロ）の調査・研究

① 湖内全域の溶存酸素濃度測定【環】

② 魚群探知機等を用いたワカサギの資源量の把握【農】（シジミ増殖技術開発費含）

③ 動植物プランクトン調査【環・農】（動物プランクトン調査を追加）

④ 溶存酸素濃度等の連続測定装置を設置【環】

⑤ 信大との連携による貧酸素水塊の挙動、発生メカニズム（底泥調査）の研究【環】

② 拡 (2) 貧酸素対策事業

<ポイント> ④ ヒシ種子除去の面積を拡大し、ワカサギの避難場所を確保

① 面積拡大、手刈り管理（200m×500m＋毎月手刈り（6～9月））【環・農】

② 水草刈取船によるヒシ除去、堆肥化【建】

③ 水草刈取船が入れない沿岸域等のヒシ除去、堆肥化【環・農・建】

3 人が集い、良好な生態系を有する諏訪湖づくり 【 2 億 4,552 万 1 千円 】

(1) 生態系の保全（生態調査等）（再掲分(3)①②6,050万6千円含む）

覆砂場所を活用した生物モニタリング調査【環・農・建】

(2) 諏訪湖水辺整備（湖岸整備等）

諏訪湖水辺整備マスタープランに基づく自然再生事業【建】

② 拡 (3) 環境基準達成に向けた水質保全対策（流入汚濁負荷実態調査、ヒシ除去等）

<ポイント> ④ 窒素、リンの流入汚濁負荷の削減のため、汚濁負荷量の最も大きい宮川流域において、支川ごとの詳細な水質調査を新たに実施

① 水草刈取船によるヒシ除去、堆肥化【建】（再掲）

② 水草刈取船が入れない沿岸域等のヒシ除去、堆肥化【環・農・建】（再掲）

③ 流入負荷削減のための植生水路、沈殿ピット【建】

④ 流入河川汚濁負荷実態調査（宮川流域）【環】

4 予算額（案） 2 億 7,039 万 5 千円